

平成30年第3回山田町議会定例会

一般質問通告の要旨

一般質問は、9月5日（水）に順位1～5番を、6日（木）に6～8番を行う予定です。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	11番 菊地 光明	1 集会所について	現在ある集会所の中には建築から時間がたち集会所及び避難所として対応できない施設が見受けられる。特にもふるさとセンターについて、雨漏りなどで避難所としての対応ができていないのが現状である。その改善のために大規模改修するのか又は新規に改築するのか年度別に詳しく示せ。
		2 避難所について	現在避難所として指定している集会所及び消防屯所などは何か所あるのか。そのうち屋内で避難生活が可能施設は何か所あるのか。避難生活ができない施設についての整備計画はどうなっているのか詳しく示せ。
		3 消防屯所について	震災で被災した屯所の整備も終了し、今後は既存の屯所の改築に取り掛かると思う。特にも避難所として指定している屯所の改築は急務と考えるが、改築計画について詳しく示せ。大沢地区を初めとして被災した屯所の新設場所について駐車場の在り方がアンバランスに見えるが、何を基準に設置したのか詳しく示せ。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	11番 菊地 光明	4 水門整備について	神倉川水門の整備計画について詳しく示せ。特に整備年度、位置、それに伴う準用河川の整備計画など詳しく示せ。
		5 電柱について	新開地一号線の側溝工事等が終了し、道幅が広くなり交通等便利になったが、依然として電柱がそのままである。移転計画はあるのか詳しく示せ。
		6 街灯について	海蔵寺の裏から高台道路までの間に街灯が必要と思うが、設置計画はあるのか詳しく示せ。
2	8番 関 清貴	1 防災対策について	<p>新聞報道によると7月に発生した西日本豪雨災害では死者220人、行方不明者11人と大きな被害をもたらしました。犠牲になられた方々のご冥福と被災に遭われた方々にはお見舞いを申し上げ、早い復興をお祈りしたいと思います。マスメディアの映像を見ると東日本大震災で本町が経験したようなガレキの山が映し出され自然災害の恐ろしさを改めて感じさせられました。国内どこで起きても不思議がない災害であると思うところですが、そこで次の点について伺います。</p> <p>(1) 町内の洪水ハザードマップの作成を検討しているか。</p> <p>(2) 洪水、土砂災害等の避難場所、避難方法等の住民への周知はどのようにしていくか。また、河川の近くには福祉施設、学校等があると思うが、災害時の情報の伝達方法について伺う。</p> <p>(3) 飯岡地区から長崎地区の宅地の背後地を流れる準用河川西川は増水時に氾濫が心配されるが整備する計画はあるか。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	8番 関 清貴	2 消防水利について	震災以降、長崎・飯岡地区は新たな家屋が増えているが防火水槽等消防水利の充足は安心できるものか。また、長崎地区内を流れる西川等の河川を消防水利として管理しているか。
		3 復興事業について	山田地区の復興に伴う宅地引渡しは予定どおり進んでいるか。
		4 放課後児童クラブについて	山田南小学校放課後児童クラブは校舎を間借りして運営されているが、今後、施設の整備をどのように考えているか。
		5 教育環境について	(1) 中学生の通学カバンの重さについては全国的に議論されているが、本町においても実情を父兄、生徒から調査したことはあるか。 (2) 通学路の安全安心は常に考えているところであるが、大阪の地震被害で小学生の犠牲者を出したことで全国的に学校周辺のブロック塀の点検を行ったようであるが、本町の結果はどうであったか。 (3) 防犯灯の設置要望を聞くが、学校、PTA及び児童生徒から夜道等危険な箇所、防犯灯が必要な箇所を調査したことはあるか。
3	3番 佐藤 克典	1 学校給食について	学校給食センターの建設工事も着手し、32年4月からの完全給食実施に向け、着々と事務が進められているものと推察する。 給食の供給は一日一千食、町内の小中学生を対象にすることだが、食育、保護者の利便を図る上でも町立と県立の垣根はあるが、給食を希望する者に対し、山田高校の生徒も対象とするべきと考えるがどうか。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	3 番 佐藤 克典	2 小規模圃場整備事業について	田名部地区の小規模圃場整備事業について、農地の集積についてのアンケートと併せ、土地所有者から事業に対しての意向の確認を実施しているとのことだが、その後の動きはどうなっているのか伺う。
		3 私道整備事業について	私道整備事業の補助率の引上げについては28年第1回定例会において質問し、そのような考えはないとの回答であった。 町内各所で路面舗装、側溝の布設など整備が必要な生活関連道が数多くあると思われるが、私道整備事業における28年度の整備件数はゼロである。 このことは整備をしたくとも、多額の受益者負担が伴い、そのことが足かせとなっているのではないかと推察する。 受益者負担の軽減を図るため、補助率の引上げをするべきと考えるがいかがか。
4	1 番 阿部 幸一	1 林地開発について	前にも指摘していたが、浦の浜地区の林地開発問題について、これまでの経過と今後の処理方針について詳しく示せ。
		2 災害廃棄物処理事業について	平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波は広域的な人的・物的被害をもたらした。特に災害廃棄物（ガレキ等）の発生量は膨大であり、町の復興に向けて、これを早期に撤去、処理する必要があることから、県と連携し平成23年度から25年度の3か年で災害廃棄物処理事業を実施した。総事業費215億4,690万2,000円、県には176億円、残りは町の事業費。 ただ、浦の浜地区の林地開発の問題の場所から大量の抜根を無許可で投棄したと聞く。県と協議をしてはどうか。検証は必ず必要と思う。
		3 集会所について	小谷鳥地区の集会所の整備計画について詳しく示せ。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	1 番 阿部 幸一	4 個人消費について	町の5月、6月の個人消費は、前年度と今年度を比較して全体でプラスかマイナスか説明してください。
		5 公共工事について	町の公共工事費は平成30年度（5月、6月、7月）で前年度比でプラスかマイナスか説明せよ。
		6 ILCの期待と課題について	町ではILC誘致に対する期待と課題について、どういう認識か。
5	5 番 田老 賢也	1 今後の観光振興について	現在、役場内で観光を担う部署は水産商工課であるが、町主催の観光イベントで運営に携わる以外、観光を日常的に担う職員がいないのが大きな問題である。観光復興ビジョンも策定しただけで、具体的に動いている様子が見えない。今後の観光振興に町としてどのように取り組んでいくのか。
		2 町内観光客の継続性について	町主催で年に多くのイベントを開催しているが、そこでの誘客を次に繋げる、継続性を持たせる取り組みが現状では不十分である。イベントに来てくれたお客さんに再訪してもらえるよう、イベントと同様の体験ができる環境の整備と周知が必要では。
		3 防災行政無線の戸別受信機導入について	町では防災行政無線のデジタル化工事が進んでいるが、現在も場所や状況によってほとんど聞こえない場所が存在する。緊急時を考えると難聴区域があるのは問題であり、戸別受信機を導入する必要があると思うがどうか。
		4 避難場所となっている学校体育館のトイレ整備について	避難場所となっている学校体育館において、トイレの洋式化が進んでいない。避難率の高い方には体の不自由な方や高齢者が多く、トイレの洋式化を進めなければ避難行動に支障が出る。今後の対応予定は。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	6 番 木村 洋子	1 被災者の医療費、介護保険利用料の免除継続について	<p>被災者の医療費、介護保険利用料の免除が本年 12 月末日で打ち切られる予定である。本町の復興は道半ばであり、仮設住宅にいる被災者もいる。</p> <p>県保険医協会が行った被災者アンケートでは、免除がなくなれば「通院回数を減らす」、「通院できない」を合わせると 57.5 パーセントで「これまでどおり通院する」は 32.0 パーセントとなっている。「震災後、高血圧を発症しました。年金生活で医療費免除は必要不可欠です。」など切実な声がたくさん寄せられている。</p> <p>こうした被災者の切実な実態と要望を踏まえて、来年 1 月以後も被災者の医療費、介護保険利用料の免除継続を実施すべきである。町の考えを問う。</p>
		2 三陸鉄道で通う高校生の通学定期代の補助について	<p>沿岸住民の生活の足である三陸鉄道山田線（宮古～釜石間）が来年 3 月 23 日に開通予定であり、町民より大きな期待が寄せられている。大変喜ばしいことであるが、反面 JR に比べ運賃が高くなることが予想される。特に、毎日学校へ通う高校生の定期代がさらに高額になるのではと懸念する。宮古方面の高校へ通う学生が多い本町であるが、宮古までの通学定期代は幾らになるのか。また、現在の定期代より高くなれば、自家用車での通学に切り替えるなどの世帯が増え、利用者の増加につながらないのでは。</p> <p>三陸鉄道で通わせようとしている高校生の世帯にとっては、現在の定期代より高額にならないようにとの望みがある。本町では、ひとり親世帯が約 2 割と増える傾向にあり、子育て世帯への経済的負担軽減策が必要である。高校生の学びを守るため、町としても通学定期代への補助を打ち出すべきではないか、町の考えを問う。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	6番 木村 洋子	3 庁舎内の受動喫煙対策について	3月、政府は受動喫煙対策を強化する「健康増進法改正案」を閣議決定した。学校、病院、行政機関等での敷地内禁煙、飲食店や鉄道などで屋内禁煙とし、初めて罰則が設けられた。しかし、客席100平方メートル以下の個人、中小企業経営店は例外である。当庁舎での受動喫煙対策は具体的にどのようなようになるのかを問う。
7	7番 尾形 英明	1 豊間根生活改善センターの改築について	私が平成25年12月定例会で質問した「センターの下水道整備を」に対する答弁で「施設の改修時に改善する」とのことでした。その後、何の動きもございません。そろそろ施設の建て替えが必要と思うが、当局の考えをお伺いします。
		2 勝山地区センターの設置について	豊間根の中心地である勝山地区に集会所のような施設がないです。地区の集まりや子供会等の活動など大変不便を感じております。駅周辺に体操や盆踊りができる広場を備えた物産館兼用の集会施設の新設を望むが当局の考えをお伺いします。
		3 下水道や浄化槽の普及率について	現在、山田町は災害復旧により住宅再建が進んでいる。新築は下水道接続が義務付けられている。そこで伺います。 (1) 現在公共と浄化槽の普及率は。 (2) 普及促進の対策や取り組みは。 (3) 役場職員宅の設置率は。 (4) 公共施設の設置率は。
		4 学校統合と給食導入について	小学校、中学校の統合と給食導入は同時でなければ配送車などの購入に大きな影響が生じると思う。学校統合と給食センター完成との時期的な関係はどうなっているのかお伺いします。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	4番 黒沢 一成	1 災害公営住宅の談話室に関して	<p>災害公営住宅の整備が進み、多くの方が仮設から移り住んでいる。</p> <p>仮設住宅には集会室があり、高齢者が日中に気兼ねなく集まり過ごせる場となっていた。</p> <p>一方で災害公営住宅には、集会室がある地区が少ない。ある程度近くに公民館がある、震災前は特に談話室的な施設はなかったなど、設置しなかった理由はあるが、これから心配されるのは、高齢者の引きこもりである。気兼ねなく利用できるたまり場がほしいという声も聞く。</p> <p>集合・戸建ての公営住宅がまとまっている地区には要望を聞き、談話室を設置してはどうか。あるいは、整備戸数が減ったことから場所はあると思われるので、住民が設置する場合の補助を設けてはどうか。</p> <p>また、現在ある公民館等をより利用しやすい環境にできないだろうかと考える。管理の問題があるのだが、日中にぶらりとお茶のみに行けるような場できないか。</p>
		2 学校統合の今後について	<p>町では児童数の減少を考慮し、子どもたちの学習環境のため、学校統合も含めた検討を行った結果、統合の方向で各地区説明会を行ってきた。参加者は少ないが、参加した方の反応は児童数の今後の推移を知らされると統合やむなしが多いように感じる。</p> <p>一方で、学校統合は町づくりの問題でもあると慎重な考えもある。</p> <p>説明会を二巡した結果を踏まえ、今後どのように進めていく考えか。</p>